

SIFA ニュース



NO. 91

2016年度 冬号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

わいわい春まつりの ボランティアを募集します

県内でも最大級の鈴鹿国際交流フェスタ「わいわい春まつり」は、在住外国人と日本人がお互いの文化に触れ、理解を進めるために開催するイベントです。このお祭りは、ボランティアや実行委員、鈴鹿青年会議所、ベルフォンテン市派遣生OB等たくさんの方に少しずつ役割を担っていただき実施できています。

あなたも「わいわい春まつり」のボランティアをしませんか？
只今、ボランティアさんを募集中です。前日の4月22日（土）だけ・当日の23日（日）だけでも構いません。
ボランティアに興味のある方は、SIFA事務局までご連絡下さい。
希望の日にち・時間帯等、相談できます。
尚、ボランティアをして頂く方には、当日会場で使える国際屋台の食券をお渡しします。また、希望される方には、『ボランティア証明書』を発行いたします。
一緒におまつりを盛り上げましょう♪

ボランティアの役割

- *前日準備— 会場内の飾り付け作業（ステージの養生。大きな国旗や万国旗などの取り付け。タイトル看板の設置。のぼり旗の組み立&設置。屋台の区画割り等）
- *当日準備— 長机やテーブルの配置。屋台立ち上げの補助。会場看板設置。民族衣装コーナーの立ち上げ等）
- *当日運営— 民族衣装コーナー受付。屋台販売の応援。本部受付の手伝い。募金、マスコットキャラクター介添等
- *当日撤去作業— 長机やテーブルの撤去作業。屋台片付けのお手伝い。看板・国旗等撤去。ゴミ拾い等。）

【わいわい春まつり】

日時：2017年4月23日（日）

10:00～15:00

ところ：鈴鹿ハンター
& 弁天山公園



普段は自宅・大学の往復だけで、友人以外の人と交流する機会がなかなかありません。わいわい春まつりに参加し、同年代の枠を超えて色々な人と交流できたことがよかったです。

私は一人での参加でしたが、友達と一緒に誘いあって行くのも楽しいと思いますよ。皆さんもボランティアに参加してみませんか？（2016年ボランティア 中野文菜さん）

フィリピン料理講座

フィリピンの料理を作って食べながら、フィリピンのいろいろなお話を聞いて文化に触れます。

と き：3月5日(日) 10:00~14:00

ところ：鈴鹿市文化会館 調理室

メニュー：ギナタアン・カラバサ、豚肉のアドボ、塩卵サラダ

講 師：キャリブ マリシェルさん(マニラ出身)、池田 スサナさん(アルバイ出身)

定 員：32名 (先着順・賛助会員優先)

おかね：一般 1,500円、 賛助会員 1,000円

申込み：2月23日(木)までに、郵便番号・住所・名前・電話番号をはがき・ファックス・メールでSIFA
(〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 Fax:059-383-0639 ✉sifa@mecha.ne.jp)へ

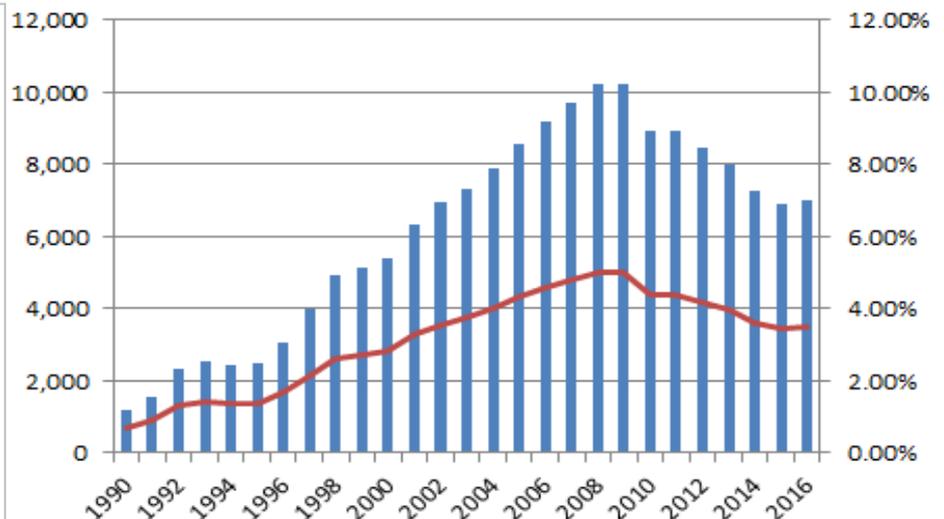
※2月24日(金)に案内状を送ります。

鈴鹿市の外国人人口の推移

国籍別外国人人口(58カ国)

H28年12月末現在

1. ブラジル・・・2,669人
 2. ペルー・・・1,155人
 3. 中国・台湾・・・928人
 4. 韓国及び朝鮮・・・566人
 5. フィリピン・・・514人
 6. ベトナム・・・323人
 7. インドネシア・・・303人
 8. タイ・・・185人
 9. ボリビア・・・182人
 10. スリランカ・・・126人
- その他・・・300人
合計・・・7,251人



鈴鹿市の外国人人口は、2008年10月をピークに減少して来ていました。この8年間で5,000人以上居たブラジル人は半減し、代わってベトナムやインドネシア、タイ等東南アジア国籍の方が増えました。その流れが、昨年少し変わりました。これまで減少してきていたブラジル人が増加に転じ、少しずつまた増えてきています。

鈴鹿市には、現在58カ国の方が暮らしており、その文化的背景も10年前に比べて多様になって来ています。また、外国籍の皆さんは鈴鹿市や近隣市町で仕事に就いていて日本経済の一翼を担っています。職場のみならず、地域社会や学校等のコミュニティ活動を共に担うパートナーとして付き合っていくことが求められます。様々な文化があふれる鈴鹿地域が日本のロールモデルになっていくと良いですね。

ベルフォンテンパネル展



昨年は、鈴鹿市とベルフォンテン市が友好協定を結んで 25 周年の年でした。夏には、ベルフォンテン市の市長をはじめとする公式訪問団や青少年を受け入れ、秋には、鈴鹿市長をはじめとする代表団がベルフォンテン市を訪れ、これからの交流についての共同宣言を交わしました。

こういった 1 年間の行事の取り組みを、12 月 13 日～17 日に市役所一階市民ギャラリーにてパネル展で紹介しました。

本協会が取り組み続けてきた青少年の相互交流事業が、共同宣言という形で実を結び、更なる交流の拡大に向けてますます両市の絆を深めていきたいと思っています。

これからのベルフォンテン市との新たな連携について、どうぞご期待ください。

第三国定住難民の日本語講座

アジア福祉教育財団難民事業本部に協力し、鈴鹿市に住む第三国定住難民の方向けに、8 月から日本語の学習を進めてきました。教材は、文化庁が開発した「社会参加のための日本語通信講座」を使用しました。

ミャンマーから逃れて来ている難民の方は、学習の習慣が身に付き、もっと勉強したいと思ってもらえることが出来ました。1 月に一旦本事業は終わりますが、引き続き学習を継続出来る様、難民事業本部と協力していきます。

テキストは文化庁の HP に掲載されており、どなたでもダウンロードできます。興味をお持ちの方はどうぞご覧ください。

<http://www.nihongo-ews.jp/contents/view/%3Fid%3D921>



国際理解セミナー 日本料理講座を開催しました。

1 月 14 日(土)、鈴鹿市文化会館調理室にて、ブラジル・ペルー・フィリピンなど在住外国人の方 13 名を対象に、日本の家庭料理を学ぶ講座を開催しました。



学校の給食で日本の味に慣れている子どもに、同じ料理をせがまれても作り方がわからないという親御さんたちのために、管理栄養士の中世古 幸さんにぶりの照り焼き、豚汁、白和え、大学いも、そしておにぎりのにぎり方を教えて頂きました。子どもたちのことを考えて、野菜不足を補えるメニューになっています。

講座では、こんぶと削り節でお出汁を取ったり、魚の煮崩れを防ぐ方法・臭みを取る方法を学んだり、味付けの「さしすせそ」の基本を学びました。

また、お膳の置き方や箸のマナーも教えて頂きました。迷い箸、寄せ箸、ちぎり箸など、やってはいけないマナーはその理由も含めて日本文化を学ぶことにつながり、在住外国人のみなさんにとって、大変興味深い内容となりました。

参加者のみなさんからは、「はじめは出来上がった料理の味にあまり期待していなかったけれど、実際に食べてみたら本当に美味しい！！」「調味料の選び方・分量を学べたので良かった！」「色々な方に出会い、異文化を知ることが出来た！」など嬉しい意見がたくさんありました。

できればシリーズ化して、日本の他の料理も紹介できたらいいな、と思います。

公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 別館第三 TEL : 059-383-0724

FAX : 059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>